

会社案内

エンジニアプランニングの原点
—地域のあるべき姿との調和を図ること—

確かな技術と経験で、社会に貢献



株式会社 エンジニアプランニング

代表ごあいさつ



「エンジニアプランニング」は平成3年に創業以来、地域に根差した建設コンサルタントとして成長してまいりました。特に「地域のあるべき姿との調和を図ること」これが「エンジニアプランニング」の原点です。

創業以来、道路事業や河川・砂防事業及び農業土木事業に係る調査・測量・設計業務を主力として事業展開し、常に知恵と技術を結集し、顧客と社会に信頼と満足の成果品を提供することを社会的使命として歩んでまいりました。

世の中が急速なスピードで変化する中、これからも確かな技術と経験で地域経済の発展と向上に貢献してまいりたいと考えています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

代表取締役 永山 耕司

経営目標

確かな技術・創造・法令遵守で信頼と満足の成果品を提供します

■ 「安全・安心・快適に暮らせるまちづくり」

- ・日常生活や社会経済活動を支える河川・道路・橋梁などの基盤づくりのための計画や提案を行います。

■ 「地域の安全を守る」

- ・災害発生時被害状況をいち早く把握し、二次災害を防ぐために真っ先に現場に駆けつけます。

■ 「歴史や風土に目を向ける」

- ・技術だけに頼らず風土や歴史から得る情報にも着目し、まちづくりや地域計画に活かします。

■ 「豊かな自然を次世代へ」

- ・社会の持続的発展と豊かな自然環境を保全・継承できるよう取り組みます。

会社概要

沿革

平成 3年 2月 (有)エンジニアプランニングを設立
平成10年 3月 測量業者登録
令和 元年 8月 建設コンサルタント業登録（農業土木部門）
令和 2年 9月 建設コンサルタント業追加登録（道路部門）
令和 3年 3月 商号変更し、(株)エンジニアプランニングとなる
令和 3年 3月 鹿児島支店及び薩摩川内支店開設
令和 3年 6月 建設コンサルタント業追加登録（河川、砂防及び海岸・海洋部門）
令和 3年12月 姶良支店開設
令和 4年 1月 さつま営業所開設
令和 4年 9月 建設コンサルタント業追加登録（下水道部門）
令和 5年 4月 鹿屋支店開設
令和 6年 2月 薩摩川内支店移設
令和 6年 8月 建設コンサルタント業登録更新（4部門）
令和 7年 4月 種子島営業所開設

概要

代表者 代表取締役 永山 耕司
資本金 1,000 万円
事業所 本 社：霧島市
支 店：鹿児島市、薩摩川内市、姶良市、鹿屋市
営業所：さつま町、南種子町
主要取引先 国土交通省九州地方整備局、防衛省熊本防衛支局
独立行政法人水資源機構
鹿児島県、県内市町村及び県公社等
従業員 社員16名
工学博士：1名
技 術 士：総合技術監理部門（建設）1名
技 術 士：建設部門（道路1名／河川、砂防及び海岸・海洋1名／土質
及び基礎1名／建設環境1名）
技 術 士：農業部門（農業土木）2名
技 術 士：上下水道部門（下水道）1名
上級土木技術者：河川・流域分野1名／マネジメント分野1名
R C C M :道路部門3名／河川、砂防及び海岸・海洋部門2名／上水道部門
1名／農業土木部門2名／森林土木部門1名／鋼構造及びコンク
リート部門1名／建設環境部門1名
測量士8名／測量士補5名
1級土木施工管理技士4名／2級土木施工管理技士3名／
下水道2種技術3名／農業土木技術管理士2名／畑地かんがい技士2名
構造物の補修・補強技士3名／道路橋点検士2名／コンクリート技士1名
河川点検士1名／VEリーダー1名
主要加入団体 鹿児島県測量設計業協会、(公社)土木学会、(公社)農業土木工学会
鹿児島県技術士会、SDGs認定機構

事業案内

測量業（第(6)25295号）（その1）

UAV や 3D と同時に CLAS システムによる成果を提供します

・令和5年災の県北薩地域振興局における災害復旧事業で CLAS 測位を実施

CLAS システムは、元第一工科大学の田中龍児教授（工学博士）が開発されたもので、データ通信情報サービス（有料）を使用せず、その場で補正計算できるシステムです。ドローンと組合せることで利便性だけでなく、危険場所に近づかなくても高精度の測量ができ、短時間で野帳・図面・目論見書等の必要な情報共有が可能となり、国土交通省九州地方整備局の「災害査定の DX に向けた説明会」において、高評価をいただき、令和 5 年 9 月 22 日の南日本新聞に弊社の取組みが紹介されました。なお、同整備局では、この CLAS システムの有用性（地図情報レベル 1000）を田中教授の協力のもと検証されています。

また、県鹿児島地域振興局建設部の「令和 5 年度第 2 回スキルアップ研修会」において、弊社の上脇大蔵課長が、標記河川災害でのドローンや 360 度カメラ等を使用した「バーチャルツアードX 査定概要」について報告しました。



事業案内

測量業(第(6)25295号)(その2)

国土交通省「災害復旧事業におけるデジタル技術活用の手引きについて」(令和7年3月)に掲載(一部抜粋)

令和5年災の県北薩地域振興局における災害復旧事業での弊社のCLAS測位の実施事例が、デジタル技術を活用した災害査定の取組事例として、国土交通省の手引きに掲載されました。

災害復旧事業におけるデジタル技術活用の手引きについて



- 地方公共団体におけるデジタル技術の導入を促進し、災害復旧事業を迅速かつ効率的を実施するため本手引きを作成。
- 本手引きでは、災害復旧の各プロセス（被害把握～工事完了）において活用できるデジタル技術について、活用手法や活用場面、留意点を解説している。なお、最新事例やさらに有効な活用方法についても情報を収集し、適宜手引きの更新を予定。

掲載内容

各プロセスにおいて活用できるデジタル技術の紹介や活用事例、効果などを記載。

ポイント①

災害復旧事業の各プロセスで有効なデジタル技術を紹介



TEC-FORCEにて作成した被災状況報告書を査定設計書作成へ活用する際のポイントも掲載

災害の発生

申請者

被災状況調査

ドローン・測量・360°カメラ・LiDAR(スマホ等)等を用いて被災箇所を巡回して被害を把握

把握した被災状況をテクノロジーで蓄積

TEC-FORCEの被災状況報告書を活用し、必要な部分は確定調査を実施

査定設計書作成

ドローン・測量・LiDAR(スマホ等)・地上・水中レーザー測量等を用いて被災状況を実施

把握した被災状況を用いて工事候補、工事計画、設計書を作成

TEC-FORCEの被災状況報告書から必要な情報を査定設計書へ反映

災害復旧

Web会議システム、AR(映像等をクラウド)を活用したり

ドローン・測量・360°カメラ等を用いて被災箇所を把握

把握した被災状況をバーチャルツアーやドローン・360°カメラ等を活用した動画や3次元モデルによる説明

実施設計

ドローン・測量・地上・水中レーザー測量等の測量結果を用いて実施設計を行う。工事実行実施作業

工事実施

LiDARや測量機器、ドローンを用いた出来高管理(リアルタイム)

無人化施工(遠隔操作)による工事を実施

成功報道

Web会議システム等を用いて、周囲地元の出来高報告を実施

ポイント②

従来手法の課題およびデジタル技術活用による解決手法を掲載

被災状況調査

従来手法の課題

被災範囲が広く、全体把握に時間がかかる。

道路の寸断等入り込みが困難で安全性に問題がある。

正確なデジタル技術による対応

- 1 広範囲の高橋や低橋を取得する。また、被災箇所の地盤構造を把握し、三次元で判断する。
- ドローン(画像情報、動画情報、航高情報、計測)
- LiDAR(画像情報、動画情報、計測)
- スマホ LiDAR(画像情報、計測)
- レーザー距離計(画像情報、計測)
- 360°カメラ(画像情報、位置情報、計測)
- TEC-FORCE(画像情報、位置情報、計測)



ポイント③

デジタル技術の活用事例を紹介し、効果や留意点を掲載

360°カメラ撮影とバーチャルツアーの組合せ

概要　津波浸漬において360°カメラ画像とバーチャルツアーを組み合わせた被災状況説明効果

多方向の視点で被災状況を説明できるため、査定官、立会官の理解が容易

川の堆積砂堆積(復旧延長 8.0m)において、360°カメラで被災箇所を撮影し、バーチャルツアーと一緒に見させて査定の役立つ立会官に活用することにより、立会官の視点での理解が可能となりました。



R5

デジタル技術を活用した災害査定の取組事例

災害査定

360°カメラとバーチャルツアーやドローン測量による3次元モデル及び図面の作成

鹿児島県
北薩地域振興局
建設部河川港湾課

■災害種別

河川災

■被災箇所と被災概要

令和5年6月30日から7月5日の梅雨前線豪雨により、薩摩川内市の一级河川小倉川が増水し、堤防護岸が崩壊

■被災の規模

復旧延長 L=8.0m

■デジタル技術の活用内容及び実施状況

- 360°カメラで被災箇所の全景を撮影し、360°カメラ画像上に起終点を表示
- 360°カメラ画像とバーチャルツアーやドローン測量による被災状況説明に活用



ドローン測量で取得した点群データから被災箇所の3次元モデルを作成し、設計図面を作成



■現状の課題

- コンサル人員の確保が困難で、測量作業に時間がかかる。
- 被災箇所における状況把握、測量作業に危険が伴う

■期待される効果

- 測量人員及び作業時間の削減
- バーチャルツアーやドローン測量による分かり易い説明

■導入効果、メリット

- 従来の写真図面を作成する場合と比較し、測量人員の削減(4人⇒2人)、測量及び設計図面作成までの時間削減(1日⇒0.5日)が可能(コンサル聞き取り)
- 360°カメラとバーチャルツアーやドローン測量による被災状況説明を説明することで、多方面の視点で説明が可能となり、査定官・立会官の理解が促進

測量人員

従来測量 4人

ドローン測量 2人 50%削減

立会官(測量及び設計図面作成)

従来測量 1日

ドローン測量 0.5日 50%削減

■課題や留意事項、導入への障壁など

- 自治体でドローン機材や操縦士の確保が難しく、データ作成できる人材がない
- デジタル技術導入後の進め方(マニュアルなど)が確立していない

事業案内

建設コンサルタント業（建01第10673号）

道路・橋梁・河川砂防・農業土木等の測量設計成果を提供します

業務実績（※直近2か年分の受注業務より一部抜粋しています。）

・令和5年度

受注業務

鹿県単道路整備(台帳整備)業務
河川災害復旧測量設計業務(R5-1)
農地中間管理機構関連農地整備事業
大田地区5-4
道路メンテナンス事業業務
(橋梁定期点検(5-2)、通山橋外補修設計)
R5新町地区測量設計業務
R5県単林道事業林道国分山麓線測量設計業務
畠ヶ田地区耕地災害測量設計業務
地方創生道整備推進交付金事業測量設計業務
(紫尾山頂線5-2工区、川口平川線5-1工区)
道路メンテナンス事業橋梁詳細点検業務5-2工区
農道橋詳細点検業務5-1工区
令和5年度林道点検診断保全整備事業(農山漁村
地域整備交付金)林道橋梁定期点検業務

発注者

県鹿児島地域振興局建設部
県北薩地域振興局建設部
県姶良伊佐地域振興局農林水産部

薩摩川内市建設部

霧島市建設部
霧島市農林水産部
姶良市農林水産部
さつま町建設課

さつま町建設課
さつま町耕地林業課
南大隅町建設課

・令和6年度

受注業務

鹿県単道路整備(台帳整備)業務
農地中間管理機構関連農地整備事業
田代地区5-3
経営体育成基盤整備事業(中山間地域型)
阿久根南部地区6-2
交通安全対策(通学路緊急対策)(補助)測量業務
(東餅田R6-1工区)
県営海岸保全施設整備(老朽化)事業菱田地区6-1
道路メンテナンス事業橋梁定期点検業務(6-4)
R6下市後柄～上市後柄線道路災害測量設計業務
R5県単林道事業林道長尾線測量設計業務
R6丸岡配水池配水流量計新設設計業務
町单独新田上原線測量設計業務6-1工区

発注者

県鹿児島地域振興局建設部
県鹿児島地域振興局農林水産部

県北薩地域振興局農林水産部

県姶良伊佐地域振興局建設部

県大隅地域振興局農林水産部
薩摩川内市建設部
霧島市建設部
霧島市農林水産部
霧島市上下水道部
さつま町建設課

おわりに

地域にとって頼りになる会社でありたい

時代を先取りする測量技術や社会に貢献することへの強い思いが「エンジニアプランニング」にはあります。優れた技術を絶えず提供し、常に社会のニーズに応えられる豊かで強い会社でありたいと考えています。技術の研鑽を第一に考え、地域社会の豊かな発展の一助となるよう努めてまいります。

また、郷土鹿児島は、異常気象・地震等による災害発生が避けられない現在、災害復旧の担い手として「エンジニアプランニング」の果たすべき役割を再認識しています。

これからも、社会資本の整備や適切な維持更新により地域づくりの担い手として責任ある役割を果たすべく、「エンジニアプランニング」の技術をフルに活かして地域社会に貢献してまいります。

所在地

本 社：〒899-4462 霧島市国分敷根1171番地3

TEL：0995-47-0667 FAX：0995-45-2997

Email：en-p3@spice.ocn.ne.jp

URL：<https://engineer-pln.com>



支 店：鹿児島支店、薩摩川内支店、姶良支店、鹿屋支店

営業所：さつま営業所、種子島営業所